



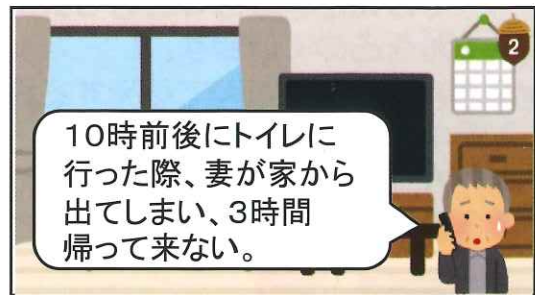
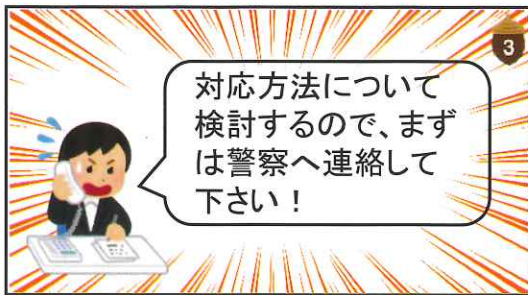
『生浜地区緊急捜索ネットワーク』発動！

令和5年9月21日生浜地区で、認知症の行方不明事故が発生したため、『生浜地区緊急捜索ネットワーク』を初めて発動しました。

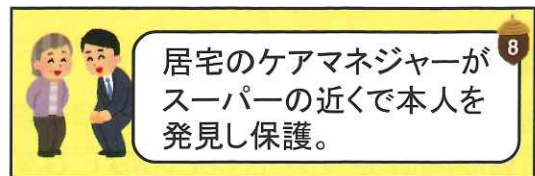
『生浜地区緊急捜索ネットワーク』とは生浜地区で行方不明事故が発生した際、近隣の福祉事業所の協力を得て、行方不明者を速やかに発見出来るよう始めた取り組みです。

回覧

若年性認知症の診断を受けている、64歳の女性。
71歳の夫と2人暮らし。今年の4月に相談を受け、
対応していたところ…



対応方法についてセンター内で協議し、緊急捜索
ネットワークを使って本人を捜索する方向で、夫に
提案してみることにしました。



ネットワークを活用し、近隣の福祉事業所に協力して頂いたことで、短時間で行方不明者を発見することが出来ました。行方不明事故が発生した際は、速やかに発見出来るよう近隣の福祉事業所と連携し、早期解決につながるよう対応していきたいと思っております。

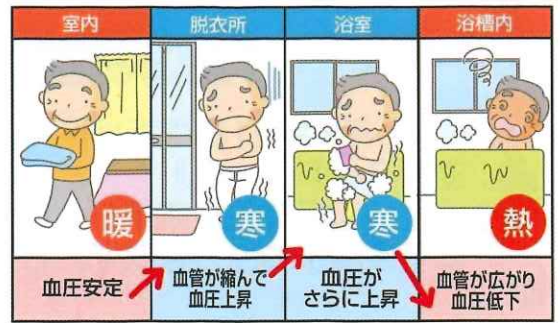


ヒートショックにご用心!



ヒートショックとは?

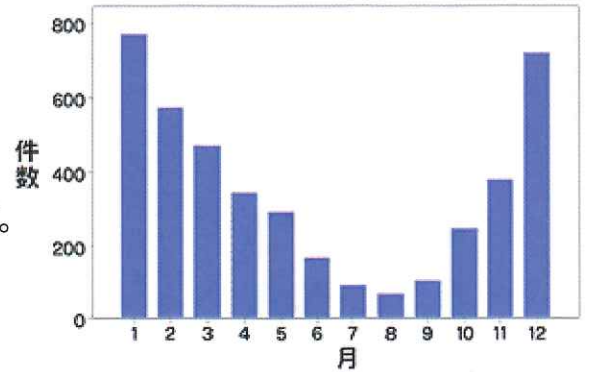
ヒートショックは、暖かい部屋から寒い部屋への移動など、急激な温度の変化により、血圧が上下に大きく変動することなどが原因で起こります。気温が下がる冬場に多く見られ、失神や不整脈のほか、死に至ることもあります。特に高齢者は注意が必要です!



冬のお風呂は危険がいっぱい!

- ▶ 入浴中の事故死は、11月から4月の冬季を中心に年間約80%が発生しています。
- ▶ 高齢者の浴槽内での死亡者数は4900人で、不慮の溺死事故の71%を占めています。
- ▶ 入浴中に心疾患等の病気が原因で急死する場合もあることから、入浴中の事故は更に多いと推定されています。
- ▶ 浴槽内での溺死者は、年代が上がるにつれて増加しており、特に75歳以上の後期高齢者が増えています。

入浴中の事故月別発生率



予防のポイント



安全に入浴するために、以下の点に注意しましょう。

1 脱衣所と浴室を入浴前に温めましょう

・温度の急激な変化を避けるため、入浴前は浴室や脱衣所を暖めましょう。



2 お風呂の温度は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう

・湯はあまり熱くせず、10分までを目安に上がるようにしましょう。



3 浴槽から急に立ちあがらないようにしましょう

・浴槽内に倒れて溺れる危険がありますので、浴槽から出る時は、手すりや浴槽のへりを使ってゆっくり立ち上がりましょう。



4 食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう

・飲酒後、アルコールが抜けるまで、また、体調の悪い時や睡眠薬等の服用後の入浴は控えましょう。



5 入浴前に同居者に一声かけて、意識してもらいましょう

・入浴時の死亡事故を防ぐには、早期発見が重要です。
・同居者は高齢者が入浴した時はこまめに様子を見に行きましょう。



千葉市あんしんケアセンター 浜野 ☎043-305-0102

JR浜野駅西口徒歩2分 〒260-0824 千葉市中央区浜野町891

(受付) 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

※千葉市あんしんケアセンターは、千葉市から委託を受けた高齢者の総合相談窓口です。